

専門研修「地域保健」

【日時】	令和3年10月6日(水)、11日(月) 9:00~17:00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	58名
【講師】	<ul style="list-style-type: none"> ・国立感染症研究所実地疫学研究センター 職員 ・一般財団法人日本環境衛生センター 技術調査役・環境衛生分野担当 中臣 昌広 氏 ・武蔵野大学看護学部看護学科 教授 中板 育美 氏 ・早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授 中村 好男 氏 ・株式会社ルネサンス 地域健康推進部 地域健康第1推進チーム 課長 丸尾 和久 氏 ・杏林大学 保健学部 看護学科 教授 大木 幸子 氏
【研修内容】	<p><目的> 地域保健業務に関する専門知識を習得し、今後の地域保健活動に活かせる職務遂行能力の向上を図る。</p> <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染症等の最新情報について ②新型コロナウイルスを踏まえた避難所の衛生対策 (保健所・環境衛生監視員の視点から) ③他職種連携～保健師の役割について～ ④コロナ禍における健康づくり ⑤オンラインを活用した健康づくりサービス と民間企業との連携事例 ⑥母子保健における児童虐待の発見と支援 <div data-bbox="1034 1218 1342 1469" style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right;">〈講義の様子〉</p>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・教科ごとに専門的な講師のお話を聞けて、とても勉強になりました。視野を広げて今後の業務に活かしていきたいと思います。 ・コロナ禍ということ踏まえた上で、専門職として取り組むべきことを改めて考えることが出来ました。また、保健師、母子保健の取り巻く環境等についてもしばらく研修がなかったなのでこのタイミングで聴けて良かったです。 ・コロナ禍において地域保健を中心に様々な角度からの講義で大変勉強になりました。